

Support Person

Event: 2022 全日本学生ヨット選手権大会 87th ALL Japan Intercollegiate Sailing Championship Race Number: 1,2
Hearing Schedule: 2022-11-05 17:30

PARTIES AND WITNESSES

Request No.: 41: Protest Committee

Support Person - 吉田恵理、西野祐里子
関西大学の全艇

VALIDITY

Objection to Jury: No

Within Time Limit: N/A

Incident Identified: Yes

Proper Hail: Hail not required 公式掲示板に掲示

Red Flag Displayed: Not required

Decision: N/A

PROCEDURAL MATTERS

レース委員会から受け取った情報を基に、支援者が規則に違反したかどうかを検討するために、規則60.3(d)に基づき審問を招集した。

プロテスト委員会は、規則63.9に基づき申し立てを提起する者としてレース委員会の西村真洋氏を指名した。

関西大学の全艇は審問に出席しなかったが、RRS 63.3(b)に従って審問を進行した。

関西大学の国際470級リコールナンバー51の艇の競技者（久保旬也氏）は審問の途中に審問室に現れたため、プロテスト委員会は審問の途中からの出席を認めた。

FACTS FOUND

本大会の帆走指示書に、SI21.6は「【添付書 A】に示された『レース・エリア』に進入する支援艇・応援艇は、その日に進入する前に、近畿北陸学生ヨット連盟ホームページにある Google フォームの『支援艇・応援艇出艇届』に記入しなければならない。この届けは、その日の 8:00 から受け付ける。」、SI21.7は「帰着した支援艇は、近畿北陸学生ヨット連盟ホームページにある Google フォームの『支援艇・応援艇帰着届』に記入しなければならない。締切時間は、その日の当該クラスの最終レース終了時刻後又はレース委員会が「本日これ以上レースを行わない」という信号を発した後どちらか遅い方から 60 分とする。」と規定されていた。

吉田恵理氏、西野祐里子氏は関西大学の現役のヨット部員であり、吉田恵理氏はマネージャーであり、西野祐里子氏は選手として出場する可能性があった。

吉田恵理氏は応援艇、西野祐里子氏は支援艇の乗員であった。

吉田恵理氏が乗船する応援艇には、他に7名が乗船していた。

西野祐里子氏が乗船する支援艇には、他に3名が乗船していた。

吉田恵理氏は11月3日に自らが乗船する応援艇に係る『支援者・応援艇出艇届』に記入しておらず、担当者が提出を試みたが、実際には届は届いていなかった。

西野祐里子氏は11月3日に自らが乗船する支援艇に係る『支援者・応援艇帰着届』に自ら記入し、提出を試みたが、実際には届は届いていなかった。

西野祐里子氏は関西大学の全ての支援艇・応援艇の出艇・帰着届の確認をすることを担当していた。

当該支援艇・応援艇は11月3日にSI添付書Aに示された『レース・エリア』に進入した。

届が実際に届いているかを掲示等で確認するすべはなかった。

レース委員会は、支援艇・応援艇の安全を守るため、支援艇・応援艇の出艇・帰着届を帆走指示書により求めていた。11月3日は、実際に危険を及ぼすことはなかった。

Diagram: No Diagram Needed

CONCLUSIONS AND RULES THAT APPLY

Rules: SI21.6および21.7

吉田恵理氏は『支援艇・応援艇出艇届』に正しく記入しなかったので、SI21.6に違反した。
西野祐里子氏は『支援艇・応援艇帰着届』に正しく記入しなかったので、SI21.7に違反した。

DECISION

Date & Time: 2022-11-05 18:05 JST

裁量ペナルティーポリシーに基づき、出発点をレベル2と決定した。
裁量ペナルティーポリシー4.1(b)に基づき、ペナルティーを軽減した。ペナルティーを加重すべき事情はなかった。
支援者である吉田恵理氏、西野祐里子氏に警告を与える。
規則64.5(b)(2)に基づき、当該支援者が支援している関西大学の全艇に警告を与える。

PROTEST COMMITTEE

Chaired By: Kai Masuda (JPN)

Committee Members: Mai Kitajima (JPN), Hirofumi Fujii (JPN)

Printed: 06 Nov 09:48